

わ せ だ ゆ き

早稲田夕季のひまわり通信

2006年4月 No.8

2月定例会、予算等審査特別委員会が終了し、平成18年度の予算が決まりました。2月定例会報告パート2です。

石渡市政2期目の方針として、「元気な鎌倉創造予算」と銘打った予算の中身は？

平成18年度予算

一般会計	543 億 3,800 万円 (1.4%増)
特別会計	524 億 8,250 万円 (5.5%



◇ 市民の目線で幅広く配分 ◇

地域ごとの重点整備

39 億 2,900 万円

(百万円未満切り捨て・●)

- 鎌倉駅舎バリアフリー化(エスカレーター、エレベーター設置)、西口駅前歩道など…………… 1 億 4,800 万円
- 鎌倉広町緑地、材木座・公園整備など緑保全…………… 25 億 8,200 万円
- 七里ガ浜浄化センターの改修…………… 6 億 7,700 万円
- 大船駅の連絡通路、エスカレーター等…………… 1 億 3,100 万円
- 小袋谷跨線橋の補強工事…………… 5,500 万円

⇒新たなまちづくり交付金などを活用して鎌倉駅西口の周辺整備、小町通り電柱地中化、身近な公園の整備を進めます(事業費の4割が国の負担)。

私も要望してきた身近な公園。材木座の公園用地は約1,000㎡、山を背にした緑豊かな場所です。

子どもたちからお年寄りまで集えるような、市民が企画から管理まで参加していくふれあい公園になれば…と考えています。

少子高齢化対策

12 億 5,700 万円

- 小児医療費の助成(所得制限付きで小3までに拡大)…………… 4 億 3,800 万円
- 深沢地域福祉センターの着工(公立保育園・子育て支援センター等、平成19年度開所予定)…………… 1 億 5,600 万円
- 不登校・ひきこもりの子どもたちのフリースペース開設…………… 1,000 万円
- 七里ガ浜に子ども会館・子どもの家…………… 7,100 万円
- 3カ所に介護老人福祉施設(稲村ガ崎4丁目、市営今泉住宅跡地、大船工業技術高校跡地)…………… 2 億 2,100 万円

⇒平成19年、20年度に公有地3カ所に特養老人ホームを開設し、約220床が確保されることとなりますが、待機者はまだ300人以上。1ベッドに対する市の助成金は800万円、現在400ベッドに32億円の経費が必要です。10年後には3人に1人の高齢者を支える本市では、健康づくりが福祉の大きな課題です。そのための核となるのが深沢の福祉

センターです。団塊の世代の力を借りて、地域で共に支え合うシステムを作っていきます。

民主党が提言しているのは「官と民の間の公の精神」。自分たちでできることは自分たちでやる、社会的弱者を支えるためにも、地域住民やNPO、地域企業などがそれぞれ「公共を担う」時代です。

安全安心まちづくり

9億4,900万円

- 防災行政用無線(6基) 2,500万円
- 浸水被害を防ぐポンプ場、雨水管きよ 3億1,100万円
- 富士塚小の補強工事、七里ガ浜小・深沢中の耐震診断 5,700万円
- 今泉市営住宅跡地に消防出張所を新設 2億200万円
- 小学校に学校警備員を配置 3,200万円

⇒鎌倉は独特の谷戸地形であるため、まだ防災行政無線が聞こえない地域が多く、今後5カ年で30基の増設を予定しています。1基あたりの設置経費は300万円、ランニングコストは43,000円。

小中学校の耐震補強については、平成22年度までに全6校の工事を終了し、その後ミニ防災拠点となる体育館の耐震工事を行いません。

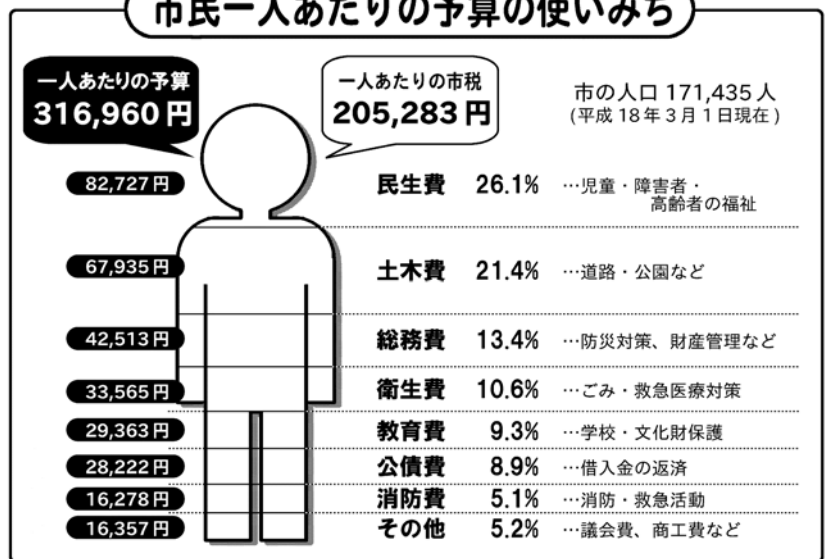
小学校に警備員を配置し、登校から下校まで子どもたちの安全対策の強化を図ります。

◆赤字債に頼らない健全財政を

財源の大黒柱である市税は、19億円3千万円増の351億8,000万円。景気回復による所得増と定率減税の縮小により、5.8%の伸びとなりました。

しかし、市税収入はピーク時と比べると100億円余の減収であり、これを補うため市債への依存度が年々高くなっています。住宅ローンのように資産価値として残る借金ではなく、家計のやりくりのために借金をするような赤字債(臨時財政対策債等)。新年度は赤字債の発行を抑え、市債残高は平成16年度末1,090億円、平成17年度末1,059億円から平成18年度末見込みで1,026億円と、ようやく減少してきましたが、厳しい状況が続いています。

市民一人あたりの予算の使いみち



予算と市税の差額は国・県の補助金、市債などを充当

募集しています 地域の底力!

あなたの地元のできごと、
日頃から疑問に思っている事をお寄せ下さい。

《早稲田夕季プロフィール》

- 白百合学園小・中・高校、早稲田大学法学部卒業
- 日本輸出入銀行・地元ミニコミ紙記者・自宅で学習指導
- 早稲田大学鎌倉校友会・鎌倉日仏協会
鎌倉同人会・ベルの会・鎌倉風致保存会
返子鎌倉の中世遺産を考える会・
カトリック雪ノ下教会に所属

総務常任委員会・議会運営委員会・決算委員会

◆5年間にまちづくり・福祉と盛りだくさんの事業

平成18年度は、前年度予算に比べ一般会計で1.4%増、総額で3.4%増の規模拡大。安全安心対策や少子高齢化対策、障害者福祉などに重点をおき、土曜日の市民窓口の開設など市民サービスも視野に入れたスタートを切りました。

さらに、大船駅・鎌倉駅周辺、深沢地区の整備計画が本格化し、将来の鎌倉を創っていく重要な予算編成となっています。世界遺産登録を目指すまちづくり、下水道施設の大規模改修など、今後さらに基盤整備のための経費の割合が高まり、財源確保が課題となります。

これらの計画に必要な財源は、5年間で約73億円の不足となる見通しです。市はこれを補う具体的方策として、税金滞納者からの徴収や市有地の処分、人件費の削減などを掲げていますが、十分とはいえません。

赤字債発行に頼る依存型から脱するために、各年ごとに何をどれだけ節減するのか具体的な目標を示すことが大切です。優先順位を見極め、これまでの事業の見直しや、民間委託などによる経費の圧縮をさらに進めていかなければなりません。

【連絡先】 早稲田夕季 後援会 〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-12-10 TEL&FAX 0467-24-9371

ホームページ : <http://www.geocities.jp/yjhx208> メールアドレス : yjhx208@ybb.ne.jp